

笑顔とがんばりの町

おのまち

広報

たかむら
小野町商



おのまち夏まつり

8月15日、小野新町小学校校庭でおのまち夏まつりが行われました。
イベントの中で小野町ご当地ヒーロー「こまちレンジャー」が会場を盛り
上げました（関連ページP2・3）

Public
Relations
ONOMACHI
September_2013
No.607

2013
9



たかむら音頭を演奏する皆さん



小野中学校吹奏楽部



絵ねぶたの展示



チャレンジゴール

おのまち夏まつり開催

おのまち夏まつりが8月15日、小野新町小学校校庭にて開催され、町内外から約8,000人が来場しました。

小野中学校吹奏楽部や小町夢太鼓による元気あふれる演奏、美しいフラダンスショー、ものまねショーが行われ、会場は熱気に包まれました。また子どもたちにも人気の「こまちレンジャー」も登場し、会場を盛り上げていました。

夏まつり恒例の「たかむら踊り」では、となりのトトロのオープニングテーマ曲「さんぽ」や、たかむら音頭保存会の皆さんの太鼓に合わせ、色とりどりの浴衣や法被を身にまとった踊り手の皆さんが、幾重もの大きな輪を作っていました。

夏まつりの最後には約600発の花火が大空一面に打ち上げられ、来場者を魅了しました。



小町夢太鼓



フラダンスチーム"フラ"



こまちレンジャーショー



パワフル聖子さん



たかむら踊りを楽しむ皆さん

平成25年度 第21回サマーキャンプ中学生の翼

帰国報告



素晴らしい思い出を胸に

今年で21回目を数える「サマーキャンプ中学生の翼」事業は、中学2年生15人が参加して12日間の日程で行われました。

7月29日の朝、小野町を出発し成田空港からアメリカ合衆国ニューアーク空港まで13時間の搭乗を経てグレンロック町へ到着。グレンロックのヴァンカレン町長をはじめホストファミリーの皆さんが温かく出迎えてくれました。歓迎会では、吉田団長が大和田町長の感謝のメッセージを伝えました。歓迎会が終わると団員たちはその日からホームステイに入りました。

翌日からは町内の図書館、消防署、警察署、役場などを見学しました。またニューヨーク市内研修では自由の女神像やエンパイアステイトビルなどアメリカ

を代表する場所を見学したり、本場のミュージカル「ライオンキング」を鑑賞したり、団員たちはアメリカという国のスケールの大きさと文化を満喫していました。

後半のキャンプでは、キャンビンといわれる宿泊棟に現地の子どもたちと一緒に宿泊し、カヌーでの川下り、タワー(壁登り)、アーチェリー、マウンテンバイク、乗馬、水上スキー、ゴーカート、折り紙などの工作、トラピース(空中ブランコ)、レーザータグ(サバイバルゲーム)など、さまざまな活動を体験しました。

団員たちは、日本とアメリカの文化の違いを実際に体験し、アメリカ人の心の広さや温かさ、優しさに感激しながら8月9日全員元気に帰町しました。

団長および団員による研修報告を掲載します。

団長(教育課長) 吉田 浩祥

平成25年度第21回「サマーキャンプ中学生の翼」は15人の中学2年生(女子11人・男子4人)、引率者3人により、アメリカ合衆国での12日間の研修を終え、団員は大きな成果を胸に8月9日に無事帰国いたしました。

自分の目でアメリカの文化を学びたい、ホームステイ先で英語力を試し、向上させたい、日本の良さを伝えたいなど、多くの目標を掲げて応募してくれた団員。その旺盛なチャレンジ精神をアメリカで十二分に発揮し、日を追うごとに生き生きと活動してくれた姿が何より印象に残りました。

研修前半の日程を終え、ホストファミリーとの別れの間では、ともに涙が溢れ、何時の日かの再会を約束しておりました。多少言葉が通じなくとも、団員の積極性と必死の思い、ホストファミリーの優しさから、感謝や喜びの気持ちが互いに伝わり、短期間のホームステイにもかかわらず、心が通いあったことを実感いたしました。団員にとっても貴重な体験であり、感動であったと思います。グレンロック町の人々との交流の積み重ねによる深い絆を肌で感じた瞬間でもありました。



研修後半のキャンプ場でも、さまざまなプログラム(カヌー、水上スキー、空中ブランコ、乗馬、壁登り、アーチェリーなど)に対し、研修最終日まで余力が残っているか心配なくらい、積極的に全力投球してくれた団員の姿がありました。

今回の研修での多くの体験・交流が団員の将来に大きく役立つことを確信し、われわれ引率者も非常に爽やかな気持ちで帰国することができました。

事前に決めたルールをしっかりと守り、どんなことにも積極的に取り組んでくれた15人の団員を誇りに思うとともに、さまざまな面で今回の研修をサポートしていただきました全ての関係者の皆様に感謝申し上げ、帰国の報告といたします。

事前に決めたルールをしっかりと守り、どんなことにも積極的に取り組んでくれた15人の団員を誇りに思うとともに、さまざまな面で今回の研修をサポートしていただきました全ての関係者の皆様に感謝申し上げ、帰国の報告といたします。



右上/グレンロック町長と 左下/スティーブンと引率者

小野中学校2年 赤坂 菜摘



私は「積極的に英語で話し日本との文化の違いを体験する」という目標を立ててこの研修に臨みました。一番印象に残ったのは、食文化です。アメリカの食事は日本に比べてとても量が多く、また朝からポテトやチキンなどの油ものが中心で驚きました。お菓子やジュースなども、日本に比べて甘かったです。

グレンロック町やキャンプ場の皆さんなど、どこでも私たちを温かく受け入れてくださいました。アメリカの子どもたちはとても積極的で、見習うべき点が多かったです。私たちを温かく迎えてくれたグレンロックの皆さんには心から感謝しています。私の一生の思い出です。

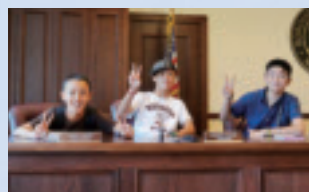


左上/キャンプ場でランチ(左)

右下/ホストファミリーと(左から2番目)

小野中学校2年 吉田 龍弥

僕の今回の研修目標は、英語力の向上と自分の人見知りを克服することでした。アメリカでは積極的に自分から話しかけることを心がけ、どんな活動でも自分から率先して行動することができたと思います。また研修ではグレンロック町内だけでなく大都市ニューヨークなどにも行って、世界の広さを実感することができました。日本の中の小野町という小さな地域にいただけでは何も見えないということも分かりました。



将来のためにも、いろいろなことに取り組み、知らない世界を知ることによって自分の能力を伸ばそうという新たな目標を見つけました。とても意義のある研修でした。

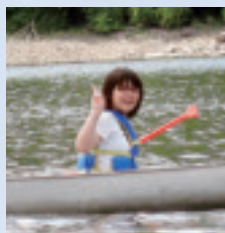


右上/グレンロック議場で(中央)

左下/送別会でホストファミリーと(左)

小野中学校2年 岡田 咲季

私の研修目標は、積極的に英語でコミュニケーションを取ることでした。でも英語が得意ではない私の言葉が通じるのか、ジェスチャーを交えて相手に気持ちを伝えられるのか不安でいっぱいでした。



しかし、いざアメリカに行くと、皆さんがとても優しくっていっぺんに不安がなくなりました。ホストファミリーとも、思ったより会話ができるようになりました。ボイル家の女の子たちと夜遅くまで一緒にウノで遊んだりブレスレット作りをしたことは、私の一生の思い出です。

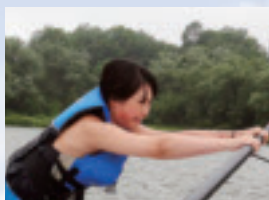


たとえ言葉が分からなくても、アメリカの友だちと楽しく過ごせることが分かりました。言葉という壁を越えることができて良かったと思います。

右上/カヌーに挑戦

左下/ホストファミリーと(前列左から2番目)

小野中学校2年 岩塚 茜菜



今回の研修に参加するにあたって私が決めた目標は「一つ一つの体験を大切に、楽しむ」ということがありました。

初めてのアメリカではさまざまな体験をしましたが、お互いの国の良さを学ぶことができてとても充実した12日間でした。最も感動したのはライオンキングのミュージカルです。全て英語でしたが、大きな世界観や音楽の素晴らしさに感動しました。言葉だけでは伝わらないこともあるのだと感じました。もっと英語を勉強し、またいつか必ずライオンキングを見に行こうと思います。

ホストファミリー、グレンロック町、キャンプ場のたくさんの皆さんに感謝し、研修で学んだことをこれからの人生につなげていきたいです。



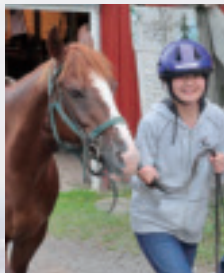
左上/水上スキーに挑戦

右下/クリスティン先生と記念撮影(左)

小野中学校2年 平川 千紗

私にとってサマーキャンプはとても充実した12日間でした。

私が一番心配していた英語は、緊張してなかなか話せませんでしたが、勉強していた英語が通じてうれしかったです。そしてホストファミリーと行った



アイスクリーム屋さんのアイスの量がとても多くて、さすがはアメリカだなと思いました。夜は陽が落ちるのが9時ぐらいで、その時間に家族で出掛けるのも驚きました。

キャンプでは初めて水上スキーに挑戦しました。見てる時は怖かったのですが、やってみるとスピード感があって楽しかったです。

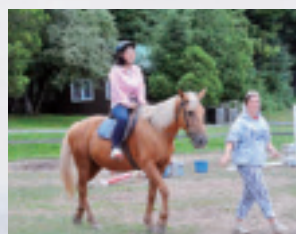


私は、自分でアメリカを体験することができて本当に良かったと思います。

右上/これから乗馬です！

左下/ホストファミリーと(左)

小野中学校2年 籠田 未智



私が研修で目標にしたことは、アメリカの文化、生の英語を学ぶことです。文化については、食事やあいさつ、生活スタイルなど日本との違いをたくさん知ることができました。特にアメリカの食事は量が多くて味付けも濃く、野菜もたくさん出されました。英語は、最初は自分から話しかけることができませんでした。しかし、ホストファミリーの方が優しく話かけてくれたので、ジェスチャーを交えながらコミュニケーションをとることができるようになりました。

これからの中学生活で、サマーキャンプでの失敗も成果も生かせるようにしたいです。

これからの中生活で、サマーキャンプでの失敗も成果も生かせるようにしたいです。



左上/乗馬体験

右下/自由の女神の前で(前列左)

小野中学校2年 吉田 輔



今回のサマーキャンプの研修で、僕は思いやりと優しさを学びました。ホストファミリーの方とボーリング場や博物館へ行ったり、家の庭でフリスビーをして遊びました。また、分からない英語を日本語に訳してもらうなど、とても優しくしていただき、おかげで楽しいホームステイになりました。

後半のキャンプでは、自分の分かる日本語で一生懸命話し掛けてくれるアメリカ人がいたり、皆さんがとても優しく接してくれたので、不安になることもなく活動することができました。

これから僕は、この経験を生かして、家族や友達に優しく接していきたいと思います。



左上/ホストファミリーと(右)

右下/乗馬体験

小野中学校2年 松本真梨亜

私はこのサマーキャンプをきっかけに、アメリカのさまざまなことを知ることができました。

グレンロックは自然がとても豊かで素晴らしいところです。そしてアメリカの子どもたちはとても積極的に話し掛けてくれました。町の皆さんやホストファミリーの皆さんがとても優しくしてくれてうれしかったです。キャンプ場では乗馬やハイロープなど、日本ではできない貴重な体験をしました。

今回の研修で英語に興味を持ち、前より少し話せるようになったので、ALTの先生と積極的に話してみたいです。

アメリカで学んだことを、これからの生活に生かしていきたいと思っています。



右上/ハイロープに挑戦！

左下/ホストファミリーと(右から3番目)

小野中学校2年 西牧 風花



私は今回の研修で、たくさんのことを学びました。まず私が驚いたのは文化の違いでした。くつを脱がずに家で過ごしたり、食事でも生活のルールも日本とは違いました。

ホームステイでもキャンパスティでも共通して感じたことは、アメリカの皆さんの優しさで温かさでした。私は英語があまり得意ではありません。しかし、私が分かるようにゆっくりと話しかけてくれたり、簡単な英語を使ったりしてくださって、英語でのちょっとした会話も楽しくなりました。

私も、これからは周囲の人に優しく温かい態度で接したいと思います。



左上/乗馬体験

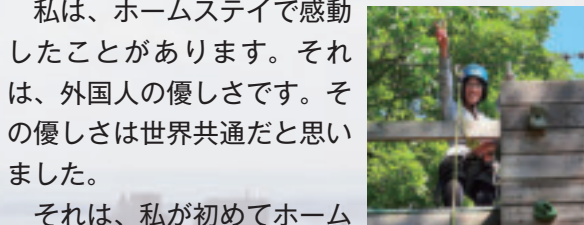
右下/エンパイアステイトビルで(左から2番目)

小野中学校2年 会田 寿恵

私は、ホームステイで感動したことがあります。それは、外国人の優しさです。その優しさは世界共通だと思いました。

それは、私が初めてホームステイ先に行った時です。私は緊張のためか鼻血を出してしまいました。「なんとかしなくちゃ。止まらなくなったらどうしよう」と思って困っていたら、ホストマザーが助けてくれました。それは、自分の母親のような優しさでした。そのとき私は外国人の優しさに触れました。

その一瞬で今までの不安がふき飛び、ホームステイが楽しくなりました。今回の研修に参加して本当に良かったです。またアメリカに行きたいと思っています。



右上/タワーに登りVサイン

左下/歓迎会でホストファミリーと(中央)

小野中学校2年 宗像 千帆

初めての海外。出発する前、私は期待よりも不安の方が少し大きかったです。

アメリカに着いて空港を出ると日本と異なった街の作りに驚きをかくせませんでした。グレンロックの皆さんが歓迎会を開いてくださり、そこで初めてホストファミリーに会いました。家族全員が優しく、最高のホームステイになりました。ホームステイ中は子どもたちといろいろな遊びをし、友情に言葉は関係ないのだと改めて思いました。

また今回のサマーキャンプで、生の英語を学ぶことができました。この経験をこれからの生活に生かし、積極的に行動することを心掛けていきたいです。



右上/グレンロックの送別会で
左下/ホストファミリーと(中央)

小野中学校2年 会田 裕雅



アメリカは、とにかく楽しかったです。前半のホームステイは、リバティ家のお世話になりました。その家の10歳のアレックスととても仲良くなり、一緒に野球やサッカーなどをやりました。お父さんとお母さんはとても料理が上手です。お父さんはイタリアの方で、イタリア料理がとても美味しかったです。

後半のキャンプは、毎日が分刻みのハードスケジュールでした。走る、泳ぐ、登るなど大変でしたが、キャンプ場のさまざまな国籍の友達と過ごし、あつという間の楽しい時間でした。

また中学生の翼に参加したいと思うほど、とても充実した12日間でした。

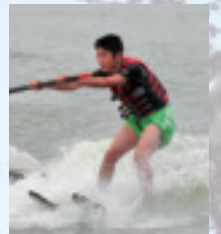


左上/タワーに挑戦！
右下/ニューヨーク市内を地下鉄で移動(中央)

浮金中学校2年 生天目莉空

僕が今回のサマーキャンプで最も心配していたのは言葉の壁です。「英語をうまく話せなかったらどうしよう、間違ったらどうしよう」と、そんなことばかり考えていました。確かにうまく話せたわけではないし、間違わなかったわけではありません。でも、気づくと友だちがたくさんできていました。それは、自分から積極的に話しかけたからだと思います。

最初は、間違えることを恐れて控えめでした。しかし、そのうちにそんなことを忘れて無我夢中で楽しんでいるうちに、自分から話しかけることが多くなりました。そして、徐々にアメリカの友だちという時間が楽しくて仕方がないくらいになりました。だから、これからどんな相手に対しても、自分から



話しかけられるようにしたいです。

僕にとっては、このサマーキャンプの全てが、素晴らしい経験です。



右上/水上スキーを体験
左下/ホストファミリーと(中央)



浮金中学校 2年 藤井万希子



「積極的に！」これは私がアメリカにいる間、常に心がけていたことです。その言葉通り、アメリカでしか体験できないことを、自ら進んで行うことができました。

特に私が思い出深いのは、グレンロックでお世話になったバリシファミリーです。一人での滞在なので不安でいっぱいでしたが、家族全員にとっても温かく迎え入れられ、不安が吹き飛びました。そして一緒に英語で話したり、遊んだり有意義な楽しい時間を過ごしました。自分から積極的に話し掛け、会話がはずんで自信ができました。

今回の研修で学んだ「積極的な行動」をこれからも心がけ、自分を更に成長させていきたいです。



左上/グレンロック警察署でパトカーに試乗
右下/ホストファミリーと(左)

浮金中学校 2年 石井 野絵

私は今回の研修で「世界の広さ」を実感するとともに「人と人とのつながりに国境は関係ない」ということを学びました。

初めての外国で、最初は積極的に英語で話せなかった私に、アメリカの皆さんは明るく優しく接してくれました。一緒にいるといつの間にか笑顔になり、何だかとても心が温くなりました。

私は、アメリカでたくさんの人々と出会いさまざまな経験をして、世界の広さを実感しました。たとえ国や言葉が違ってても人と人のつながりや温



かい心は変わりません。この研修も、そんなつながりがずっとあったからできるのだと思います。私もそんなつながりを、大切に伝えていきたいです。アメリカでの何もかもが思い出です。

右上/キャンプ場でサバイバルゲーム
左下/ホストファミリーと(右)

- 1/ 自由の女神の前で記念撮影
- 2/ 団員の名前の入ったTシャツ
- 3/ 送別会でダンスを披露
- 4/ キャンプ場のスタッフと
- 5/ カヌーを体験



小野町戦没者追悼式 戦没者を偲び 恒久平和の誓いを新たに

小野町主催、小野町遺族会共催による小野町戦没者追悼式が、7月25日に勤労青少年ホームで開催されました。式典には、戦没者の遺族、議会議員、行政区長、民生委員など75人が参列しました。

式典では参列者全員で国歌を斉唱し黙とうを行った後、大和田町長が「恒久平和の実現と大震災からの復興に向け最大限の努力を続け、町民が安心して心豊かに生活できる町づくりのため、全力を尽くします」と式辞を述べました。続いて、来賓を代表して、村上昭正議会議員長、長久保喜伸小野町遺族会会長が追悼の言葉を述べ、参列者一人一人が戦没者を偲び菊の花を献花しました。

また遺族を代表して、村上貞夫さん(飯豊下)から、幼少期に戦争で父親を失った体験や平和への思いについて、あいさつがありました。



上 / あいさつする代表者

左 / 献花の様子



夏井川流域の会 平成 25 年度水資源功績者表彰受賞

夏井川流域全体で活動する夏井川流域の会(高橋宗彦会長)が8月1日、国土交通省から平成25年度水資源功績者表彰を団体として受賞しました。

これは夏井川における健全な水循環の継承を進めるため、流域活動計画策定や流域連携活動の中心的な役割を果たしていることを評価されてのことです。

夏井川流域の会の今後ますますのご活躍を紙上よりご祈念申し上げます。



高橋会長(右)

小野町文化・体育振興基金へ ご寄付ありがとうございました



小野町自衛隊父兄会の皆さん

このたび、次の方々より文化・体育振興基金にご寄付をいただきました。

紙上より厚く御礼申し上げます。

○小野町自衛隊父兄会 様

小野町文化・体育振興基金は、町の文化と体育の振興と充実をはかるために個人や団体からの寄付により積み立てている基金です。

この基金は、小・中・高校生の全国大会出場時の激励金や表彰、町の社会体育団体や芸術文化団体、スポーツ少年団への補助や活動費などに、有効に活用させていただいています。

小野町出身の消防士が日本一に

8月22日に広島県で開催された第42回全国消防救助技術大会において、郡山地方広域消防組合消防本部が「ほふく救出」において第1位になりました。

「ほふく救出」とは、3人1組(要救助者を含む)で、1人が空気呼吸器を着装して長さ8メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、2人で安全地点まで搬送します。ビルや地下道などで煙に巻かれた人を救出するための種目です。

3人のうち、1番員の永瀬秀明さん(田村消防署)と要救助者の木村昇平さん(三春分署)が小野町出身の消防士です。

今後もお二人がご活躍されることをご期待します。



競技の様子



選手の皆さん(左から/永瀬さん、服部さん、木村さん)

夏井第一小学校 小学校音楽祭県大会出場決定

田村地区小学校音楽祭が8月28日、田村地区中学校音楽祭が8月29日、田村市文化センターで開催され、小野町から、小野新町小学校(合唱、合奏)、夏井第一小学校(合奏)、浮金中学校(合唱)小野中学校(合唱、合奏)が出場しました。

各校とも、新年度早々から練習を開始し、夏休み期間中も、毎日練習に取り組み、本番でも、日頃の練習の成果を十分発揮しました。

小学校音楽祭合奏の部では、夏井第一小学校が、金賞を受賞し、県大会出場を決めました。今後、出場する県大会においても、健闘をお祈りします。

小学校音楽祭結果

◎合唱の部

金 賞 小野新町小学校

◎合奏の部

金 賞 夏井第一小学校
(県大会出場)

銀 賞 小野新町小学校



中学校音楽祭結果

◎合唱の部

優良賞 浮金中学校

優良賞 小野中学校

◎合奏の部

優良賞 小野中学校



上 / 夏井第一小学校の皆さん(合奏の部)

下 / 小野新町小学校の皆さん(合唱の部)

小野中学校 東北中学校体育大会出場

平成25年度東北中学校体育大会(8月7日から9日の3日間開催)への出場を報告するため、小野中学校バレーボール(男子・女子)チーム主将および柔道(個人)の鈴木選手が町長室を訪れました。選手たちは「東北大会では、今までの練習の成果を発揮し、全国大会目指して、戦います」との意気込みを語りました。

大和田町長から「福島県そして小野町の代表として出場するので、町をあげて応援しています。上位を目指して、がんばってください」と励ましの言葉をかけられ、激励金が贈られました。

東北大会では、柔道(個人)90kg級に出場した鈴木選手が、5位に入賞しました。バレーボール(男子・女子)は、健闘しましたが、惜しくも初戦敗退となりました。

大会の結果は次のとおりです。(敬称略)

東 北 大 会

◎柔道(個人)

90kg級 鈴木謙太郎

トーナメント

2回戦 勝利

3回戦 惜敗 ※5位入賞

(会場：青森県八戸市)

◎バレーボール(男子)

トーナメント

1回戦

対見前南中(岩手県盛岡市)

0-2(惜敗)

(会場：岩手県一関市)



町長からの激励の様子

◎バレーボール(女子)

トーナメント

1回戦

対稲垣中(青森県つがる市)

0-2(惜敗)

(会場：岩手県一関市)

サマー・ショートプログラム開催

町では、平成25年度小野町中学生サマー・ショートプログラム事業を、8月5日から9日まで、8月19日から23日までの10日間に実施しました。

この事業は、各中学校の協力を得て、中学3年生の希望者を対象に、高校受験に向けた基礎学力の定着と学習習慣の育成を目的としたものです。

小野中学校を会場とし、それぞれの生徒が必要な教科の学習を進めたり、数学と英語の基礎学力の定着に向けたプリント学習を進めながら、熱心に学習していました。

特に、大学生の先輩や浮金中学校、小野中学校の先生方が、分らないところやつまずいているところを個別に指導した結果、生徒の理解も深まり、充実した学習が進められました。



サマー・ショートプログラムの様子



先生に質問する生徒の皆さん

第28回 B & Gスポーツ大会福島県大会に参加

第28回B & Gスポーツ大会福島県大会が、柳津町B & G海洋センターで、7月21日に開催されました。

大会では県内にB & G施設のある市町のチームが参加し、水泳の部、剣道の部で熱戦が繰り広げられました。小野町からは、剣道スポーツ少年団と水泳スポーツ少年団が出場し、水泳総合の部で第3位、剣道の部で第4位でした。



小野町チームの皆さん
上 / 水泳スポーツ少年団
右 / 剣道スポーツ少年団



平成25年度親子水泳教室を開催



親子水泳教室の様子

平成25年度親子水泳教室が8月5日から9日までの5日間、海洋センタープールで開催されました。

教室には、6組の親子13人が参加し、親の部、子どもの部に分かれて、水泳の基礎を学びました。

最終日には成果発表を行い、練習の成果を披露しました。

今回の教室を通して、より一層水泳に親しんでいただければと思います。

平成25年度少年水泳教室を開催

平成25年度少年水泳教室が7月15日から19日までの5日間、海洋センタープールで開催されました。

教室には町内の小学校から40人が参加し、初級から上級まで各コースに分かれて、練習に取り組みました。

最終日には発表会を実施し、練習の成果を披露するとともに、5日間休まず練習に参加した児童には、修了証が手渡されました。



少年水泳教室の様子

くらしの情報 Information

国民健康保険被保険者証 の更新について

現在交付している「国民健康保険被保険者証（保険証）」は、有効期限が9月30日までとなっています。新しい保険証（緑色）は9月末までに各世帯に簡易書留で郵送しますので、10月1日以降に診療を受ける際は、必ず新しい保険証を医療機関に提示してください。

保険証は、国民健康保険に加入していることを証明する大切なものです。汚したり、紛失したりしないようにしましょう。

閭町民生活課

☎ 72-6933

特定健診・節目検診 を受診しましょう

■特定健診

現在国民健康保険の被保険者で、40歳以上75歳未満の方の特定健診は、医療機関で受診できます。

年に1回の特定健診を受診して、自分の健康状態をチェックし、バランスのとれた食生活、適度な運動を心掛けて、健康の維持増進に努めましょう。

なお、7月の住民総合健診

で特定健診を受診した方は、重複して医療機関で受診することはできません。

●持参するもの

- ① 特定健康診査受診券
- ② 国民健康保険被保険者証
- ③ 自己負担金（1,000円）

●実施医療機関（順不同）

- ・ 医療法人慶信會石塚医院
- ・ さいとう医院本院
- ・ 公立小野町地方総合病院
- ・ かみや内科クリニック
- ・ 医療法人島貫整形外科
- ・ 橋本医院

※ 田村市・三春町の医療機関

でも受診できますのでお問い合わせください。

●実施期間

11月30日（土）まで

■節目検診（人間ドック）

今年度から対象年齢を60歳および65歳まで拡大し、助成限度額を廃止しました。対象者には5月中旬に通知をお送りしましたので、この機会に受診し、疾病の予防や早期発見につなげましょう。

なお期間内に人間ドックを受診するためにも、早めに予約されることをお勧めします。

●実施医療機関（順不同）

- ・ 医療法人慶信會石塚医院
- ・ 公立小野町地方総合病院

※ 町外の契約医療機関は通知に記載のとおり

●実施期間

11月30日（土）まで

閭町民生活課

☎ 72-6933

平成 25 年産米の全量全袋検査について

平成24年産米では、農家の皆さんのご理解とご協力により、放射性物質の吸着抑制対策の徹底をするとともに、町内で生産されました米をはじめ、福島県で生産された全ての米を対象に放射性物質の「全量全袋検査」を実施しました。

これらの取り組みにより、町内で生産されました米については、放射性セシウム濃度が国の基準値を超過した米はありませんでした。

平成25年産についても、消費者への信頼向上と安全・安心の確保のため、全量全袋検査を継続して実施していきますので、農家の皆さんにはお手数かけますがよろしくお願いします。

閭福島県農林水産部水田畑作課 ☎ 024-521-7360

閭福島県農林中農林事務所田村農業普及所 ☎ 62-3113

閭農林振興課 ☎ 72-6935

閭たむら農業協同組合本店 ☎ 82-6172



町税等納期のご案内

納期限 **9月30日** 日①

国民健康保険税(3期)
介護保険料(3期)
後期高齢者医療保険料(2期)

■納め忘れのないように、ご確認ください。
■納期内納入にご協力をお願いします。

気象庁からのお知らせ 『特別警報』の 発表を開始します

気象庁では、平成25年8月30日から、新しく「特別警報」の運用を開始しました。

特別警報とは、「平成23年7月新潟・福島豪雨」のような数十年に一度あるかどうかの豪雨や津波などが予測され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に、気象庁が最大限の危機感・切迫感を伝えるため発表するものです。
特別警報の発表を知った

ら、ただちに命を守るための行動をとってください。

なお特別警報が発表されるまで安全というわけでは決してありません。警報が発表された段階でこれまで通り十分な警戒が必要です。

詳しくは、気象庁ウェブサイトでご確認ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/tokubetsu-keio/index.html>

気象庁福島地方気象台

防災業務課

☎024-534-0321

食品等の放射能測定結果

町で実施している簡易検査およびゲルマニウム半導体放射能測定器による検査結果をお知らせします。

簡易測定器による測定結果

■基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
7	0	—	—

■基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
7	43	かぼちゃ、きゅうり、スイカ、サヤインゲン、シソ、トマト、とうもろこし、ナス、ミョウガ、玉ねぎ、パレイシヨ、らっきょう、たけのこ、シイタケ、桑の実、梅、ドジョウ

ゲルマニウム半導体放射能測定器 による測定結果

■基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
7	0	—	—

■基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
7	22	水道水
7	12	井戸水、引き水
7	5	一般食品など

※食品以外の検体については、結果に含まれていません。

小野町新規高卒者 雇用促進奨励金

交付申請の期限は9月30日まで

9月1日までに小野町の新規高卒者を雇用した企業は小野町新規高卒者雇用促進奨励金の交付対象となります。

交付申請の期限は9月30日となっておりますので、交付の条件などを確認の上、企画商工課までお申し込みください。

■事業内容

9月1日までに小野町の新規高卒者を雇用する町内企業

に対して、雇用1人あたり30万円を奨励金として交付します。

※本事業における「新規高卒者」とは、平成25年3月に高校を卒業した方のうち、①、②のいずれかに該当する方のことをいいます。

①県立小野高校の卒業生

②①以外の者で、高校卒業後、小野町に住んで働く方

■交付の条件など

・小野町内に本社または事業所、工場などを有する企業などであること。

・新規高卒者を対象とした求人ハローワークまたは高校に提出し、その求人に基づいて正規雇用(期間の定めのない労働契約により雇い入れること)すること。

・新規高卒者を正規雇用した日の前後6カ月において、事業主都合による離職者がいないこと。

・正規雇用した新規高卒者が、雇用契約日の翌年3月1日の時点で6カ月以上継続して働いていること。

より詳しい情報や交付申請時に使用する様式などを町公式ウェブサイトに掲載していますので、ご覧ください。

企画商工課

☎72-6939

くらしの情報 Information

上水道加入の皆さんへ

7月に実施した水道水の
質検査の結果は、次のとおり
です。

試験項目	水質基準	試験結果
一般細菌	100CFU/ml以下	0 CFU/ml
大腸菌	検出されないこと	検出せず
塩化物イオン	200mg/l以下	10.7 mg/l
有機物(TOC)	3mg/l以下	0.9 mg/l
PH値	5.8～8.6	7.2
味	異常でないこと	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	< 1 度
濁度	2度以下	< 0.1 度

☎ 72-6936
閩地域整備課

行政相談週間— 行政相談委員による 相談所開設

10月21日①から27日⑦まで
の1週間は「行政相談週間」で
す。

行政相談は、役所(国、県
および市町村)や特殊法人等
の仕事に関して、苦情や困っ
ていること、心配なこと、分
からないこと、要望したいこ
となどについて相談に応じ、
その解決をお手伝いするもの
です。

行政相談委員は、いつでも
自宅で相談に応じますので、
お気軽にご相談ください。

また次により行政相談所を
開設しますので、ぜひこの機
会にご利用ください。

【行政相談会】

■日時

10月24日①

午前10時から午後3時まで

■場所

役場第3会議室

■行政相談員

過足義夫さん(浮金宇宇東
50番地 ☎ 73-2515)

消防からのお知らせ

救命講習を受けてみませんか

突然の事故や病気のとき、
その場に居合わせた人がいか
に早く応急手当を行うかが、
命を救う重要なポイントで
す。

消防署では、心肺蘇生法や
AEDの使い方などの救命講
習を実施しています。

大切な人や家族の命を守る
ため、救命講習を受講して知
識と技術を身につけましょ
う。

開催日時については、郡山
広域消防組合のウェブサイト
をご覧ください。

なお受講を希望される方
は、事前に申し込みが必要に
なります。

☎ 0247-82-1200
閩田村消防署救急係

☎ 72-6933
閩町民生課

☎ 72-6933
閩町民生課

秋の全国交通安全 運動が実施されます

「子どもと高齢者の交通事故防止」

平成25年秋の全国交通安全運
動が9月21日から30日までの10
日間の日程で実施されます。

少子化が進む中、次代を担
う子どものかけがえのない命
を社会全体で守ることは重要
です。しかし、通学中の児童
が死傷する事故が発生するな
ど、依然として道路において
子どもが危険にさらされてい
ます。また高齢者の交通事故
死者数が全体の約半数を占
め、その減少が強く求められ
ています。

このような情勢を踏まえ、秋
の全国交通安全運動では、交
通安全思想の普及・浸透を図
り、交通ルールの遵守と正しい
交通マナーの実践を習慣付け、
交通事故防止の徹底を図るこ
とを目的としています。

子どもと高齢者を守るため、
交通安全にご協力願います。

☎ 72-6933
閩町民生課

☎ 72-6933
閩町民生課

法務局からのお知らせ

登記相談にはフリーダイヤルをご利用ください

 **0120-227-746**

法務局では、被災された皆さんから、不動産や会社など
の登記に関する相談をお受けするフリーダイヤルを設置し
ています。

お気軽にご相談ください。

- 相続に関する登記手続きは、どうすればいいの？
- 被災建物の代替建物を取得した際の登記は、どうなるの？
- 会社役員変更の登記手続きはどうすればいいの？
- 土地や建物の権利証を紛失してしまったけど？
- 会社の印鑑や印鑑カードを紛失した場合は？

閩福島地方法務局総務課

☎ 024-534-1941

森林(立木)を 伐採するときには 届け出が必要です

市町村森林整備計画の対象となっている森林(小野町全域)の立木を伐採するときは、面積にかかわらず、30日から90日前に「伐採及び伐採後の造林の届出書」を市町村に提出することが義務付けられています。

また伐採した森林において1ヘクタールを超えた開発(土や石を掘り起こしたり、林地以外に転用するなど土地の形質を変える開発行為)をする場合、林地開発許可制度に基づき、知事の許可が必要となります。

詳しくは、お問い合わせください。

農林振興課

☎72-6935

農林事務所林業課

☎024-935-1370

地域の「がんばり」 応援します！

小野町地域の「がんばり」応援事業補助金は、地域の特性を生かした魅力あるまちづくりを推進するため、地域の活性化や地域の課題解決などを目指し、自主的かつ自立的に活動する住民活動団体に交付し、まちづくり活動を支援するものです。

皆さんの「がんばり」をまちづくりに生かしてみませんか。

補助対象事業

町内で実施される新たなまちづくり事業(ただしこれまで実施してきた事業であっても、事業を発展させて拡充するものは、対象となります)

※「まちづくり活動」とは、地域の活性化や地域の課題解決などを目指し住民の利益の増進に貢献することを目的とするものです。

詳しくは、お問い合わせください。

補助金の上限額

55,000円

企画商工課

☎72-6939

うつくしま 地球温暖化防止 活動推進員研修会

福島県では、地球温暖化の現状や影響、対策などについて学習し、地域の人たちと一緒に理解を深める活動を積極的に行う「うつくしま地球温暖化防止活動推進員」を養成する研修会を次のとおり開催します。

対象
地球温暖化防止活動に関心がある方、地球温暖化防止活動推進員の委嘱を受けたい方

日時および場所

・第1回

11月1日(金)

午前11時から午後4時まで

郡山市 総合福祉センター

・第2回

11月2日(土)

午前11時から午後4時まで

福島市 杉妻会館

研修概要

地球温暖化の現状と対策、地球温暖化防止推進員の活動事例など

申し込み締め切り

10月21日(月)

郵便・FAX・Eメールで

お申し込みください。

受講料

無料

定員

各回50人(先着順)

申し込み

問い合わせ先までお申し込みください。

福島県環境共生課

〒960-18670

福島市杉妻町2番16号

☎024-521-1724

FAX024-521-17927

Eメール

kyousei@pref.fukushima.lg.jp

お問い合わせ先までお申し込みください。



住まいから 描く日本の 未来地図

平成25年 10月1日(火)

住宅・土地 統計調査

一定の統計上の方法に基づき調査された調査対象者に、調査員が訪問し、ご回答いただいた内容は、統計法により厳密に管理されますので、安心してご回答下さい。調査の結果は、皆さまの暮らしに役立てられます。皆さまのご協力をよろしくお願いします。

総務省統計局ホームページ <http://www.stat.go.jp/>

総務省統計局 都道府県・市区町村 からののお知らせ

くらしの情報 Information

説明会のお知らせ 住まいの復興給付金

平成26年4月1日から予定されている段階的な消費税率の引上げに伴い、被災者の住宅再取得や被災した住宅の補修にかかる費用負担を軽減する「住まいの復興給付金」制度が実施される予定です。

これは、東日本大震災により被害が生じた住宅（被災住宅）の所有者が、引き上げ後の消費税率が適用される期間に家を新築・購入する場合や、被災住宅を補修する場合に給付を受けることができる制度です。

次の日程で説明会が行われますので、利用を検討される方はご参加ください。

【郡山市会場】

■日時

9月30日(月)
午後2時30分から

■会場

ビッグパレットふくしま

【いわき市会場】

■日時

10月1日(火)
午後2時30分から

■会場

いわき産業創造館

間住まいの復興給付金事務局

コールセンター

(受付時間：午前9時から
午後5時まで)

☎0570-2200-246

はかりの定期検査 を行います

商店・工場などの事業所および官公庁で取引や証明行為に使用する「はかり」は、2年に1回の定期検査を受けることが義務付けられています。定期検査は、集合検査または所在場所検査により実施されます。

【集合検査】

■検査方法

指定された期日・場所で実施します。

■日時

9月26日(木)
午後1時30分から午後3時30分まで

■場所

多目的研修集会施設

■手数料

県手数料条例による手数料を検査会場で現金で納入してください。

【所在場所検査】

■検査方法

集合場所検査へのはかりの持ち込みが困難な場合などに、そのはかりの所在場所で行う検査です。

※前回受検された事業所は個別に通知します。新しくはかりを購入された方は、福島県計量検定所までお知らせください。

間福島県計量検定所

検定・検査課

☎024-521-7657

間企画商工課

☎72-6939

東北安全衛生技術センター 平成25年度出張 特別試験のご案内

労働安全衛生法に基づく各種免許試験のうち、福島地区での学科試験を次のとおり実施します。

■試験日

11月24日(日)

■試験の種類

一級ボイラー技士、二級ボイラー技士、クレーン・デリック運転士(クレーン限定)、移動式クレーン運転士、第一種衛生管理者、第二種衛生管理者

■試験会場

日本大学工学部

■窓口受付期間

9月24日(火)から9月27日(金)まで

■郵送受付期間

9月24日(火)から10月4日(金)まで

※受験資格・免除科目などは「免許試験受験申請書」をご覧ください。

※受験申請書の受付期間などについては、センターで試験を実施する場合と異なります。

※詳しくは各地区で作成している「出張特別試験案内」

空き家情報の提供にご協力をお願いします

町では、首都圏をはじめとする都市住民の田舎暮らし志向が高まっている中「NPO法人ふるさと回帰支援センター」や「小野町ふるさと暮らし支援センター」などとの連携により、町への定住や二地域居住を積極的に推進しています。

しかし、当町に移住を検討されている方へ提供す

る不動産情報が大変不足しているため、町では賃貸または売却可能な物件の情報を収集しています。

皆さんが所有されている空き家について、移住を検討されている方への情報提供が可能な方は、企画商工課までご連絡ください。

間企画商工課 ☎72-6939

文化と産業の祭典 2013 小町ふれあいフェスタ 出展者募集

文化と産業の祭典「2013 小町ふれあいフェスタ」を11月9日④・10日⑤、小野運動公園で開催します。

町内にお住まいの方であれば、個人・団体を問わず出展できます。ご希望の方は、実行委員会事務局（企画商工課内）へお申し込みください。

なお出展する際、寄付を目的とする場合を除き参加負担金がかかります。

■参加負担金
2,000 円

問小町ふれあいフェスタ
実行委員会事務局
（企画商工課内）
☎ 72-6939

おわびと訂正

広報おのまち8月号6ページの「小野町敬老会のお知らせ」の記事中、賀寿表彰内に戦没者遺族会（小野町善没者遺族会賀寿）となっていました。正しくは小野町戦没者遺族会賀寿です。おわびして訂正します。

KFB福島放送で、8月10日午後5時55分から新番組「なすびのギモン」がスタートしました。
放射線や除染など、福島で

KFB福島放送新番組
「なすびのギモン」
スタート

問東北安全衛生技術センター
☎ 0223-23-3181

をご覧ください。「出張特別試験案内」は東北安全衛生技術センターまたは最寄りの労働基準協会で受け取るか、安全技術試験協会ウェブサイトでダウンロードしてください。
<http://www.exan.or.jp/>



暮らしていくためのギモンをタレントのなすびさんが、分かりやすく毎週レポートします。

問除染情報プラザ
☎ 024-529-5668

お手紙募集
につぼん縦断
こころ旅

現在NHKBSプレミア

ムで放送している「につぼん縦断こころ旅（2013春の旅）」ですが、秋の旅は9月23日北海道をスタートし冬の愛知県を目指します。
番組では皆さんからのお手紙で旅のルートを決定するため、町内の「忘れられない場所・風景」にまつわる手紙を募集しています。手紙が採用されれば火野正平さんが小野町を訪れます。
■福島県の放送予定日
11月11日④・11月17日⑤
■応募締切
10月21日⑤必着
■応募内容
住所、氏名、電話番号、性別、年齢、思い出の場所、風景にまつわるエピソード
■応募方法

FAX、郵送または番組ウェブサイトの応募フォームから応募願います。
FAX 03-465-1327
郵送 〒150-8001

NHK「こころ旅」係
番組ウェブサイト
www.nhk.or.jp/kokorotabi/

問NHKふれあいセンター
☎ 0570-066-066

『法の日』
司法書士無料法律
相談会

「法の日」とは、法の役割や重要性について考えるきっかけにするため制定された日で、10月1日となっています。

「法の日週間」として、次の会場で無料相談会を実施します。不動産の登記や債務整理などの生活に身近な悩みに答えるほか、東日本大震災による被災・被害者の皆さんの悩みにも答えていきますので、ぜひお越しください（予約不要）。

■日時

10月12日④

午後1時から午後4時まで

■会場

田村市船引公民館

問福島県司法書士会
☎ 024-533-5539

国民年金 コーナー

後納制度について

国民年金制度は、20歳から60歳に到達するまでの40年の間に、国民年金保険料を納めていただくことで満額の老齢基礎年金を受給することができます。

しかし保険料を納めていない期間がある場合や資格取得などの届け出の忘れにより国民年金の資格期間がない場合には、将来受け取れる年金額が少なくなってしまうたり、年金そのものが受給できなくなってしまうたりすることがあります「保険料納付や免除などの期間の合計が25年（300月）未満の場合」。

このような事態を避けるた

めに法律が改正され、平成24年10月1日から平成27年9月30日までの3年間に限り、国民年金保険料を納めることができる期間が過去2年から10年に延長となる「後納制度」が利用できるようになりました。

「後納制度」では、平成14年10月分以降の納められなかった保険料を納めることができます。

※すでに老齢基礎年金の受給権をお持ちの方は、納めることができませんので、ご注意ください。

なお後納保険料を納付するためには事前に申請をして審査をさせていただくことになります。

※審査の結果によって、後納制度での納付をご利用いただけない場合があります。

間郡山年金事務所

☎ 024-932-3434

間町民生課

☎ 72-6933



休日当番医と院外薬局



月日	当番医	所在地	電話番号 (病院)	薬 局	所在地	電話番号 (薬局)
9/15(日)	総合南東北病院附属大越診療所	田村市(大越町)	79-2121	—	—	—
16(月)祝	のざわ内科クリニック	三春町	61-1500	ルビー調剤薬局	三春町	62-4848
22(日)	まつえ整形外科	田村市(船引町)	81-1222	げんじろう調剤船引店	田村市(船引町)	81-1555
23(月)祝	島貫整形外科	小野町	72-2722	—	—	—
29(日)	まつざき内科胃腸科クリニック	田村市(常葉町)	77-2870	千寿堂薬局	田村市(常葉町)	77-3831
10/6(日)	石川医院	三春町	62-2630	—	—	—
13(日)	さとう耳鼻咽喉科クリニック	田村市(船引町)	81-1333	げんじろう調剤船引店	田村市(船引町)	81-1555
14(月)祝	石塚医院	小野町	72-2161	ヤナイ調剤薬局	小野町	72-5912
20(日)	白岩医院	田村市(常葉町)	77-2036	—	—	—
27(日)	春山医院	三春町	62-3239	浜田薬局	三春町	62-2202

* 電話確認の上、受診してください。
詳しくは「福島県総合医療情報システム」の「休日当番医」をご覧ください。

福島県総合医療情報システム

検索



バーコード認識機能で、携帯電話から「福島県総合医療情報システム」をご覧ください。

こども救急電話相談

毎日、19:00～翌8:00 ☎ 024-521-3790
詳しくは「子どもの救急について」をご覧ください。

福島県 こども救急

検索

農業委員会からのお知らせ

適正に農地に関する手続きを行ってください

農地法は、農業生産の基盤である農地が、限られた資源であり、地域においても貴重な資源であるため、耕作者自らによる農地の所有が果たしてきている重要な役割も踏まえ、農地を農地以外のものにすることを規制するとともに、農地を効率的に利用する耕作者による地域との調和に配慮した農地についての権利の取得を促進するほか、農地の利用関係を調整、農地の農業上の利用を確保するための措置を講ずることによって、農業生産の増大を図り、国民に対する食料の安定供給の確保に資することを目的としています。

この農地法の定めにより、農地には、さまざまな制約があります。

○農地法第3条関係(所有権移転など)

農地を、耕作目的で「所有権移転(売買・贈与・交換)および賃借権設定」する場合に必要な手続きです。

※相続(所有者死亡)による所有権移転は、農地法第3条第3項の届け出が必要ですが、農業委員会の許可は不要です。

○農地法第4条・第5条(農地を農地以外のものに転用)

第4条：農地を、所有者自らが転用する場合

第5条：転用を目的とした売買・賃借の場合

いずれも許可の手続きが必要です。



農地の貸し借りは農業委員会にご相談を！

正規な手続きのない農地の貸し借りは、農地法上無効であり、トラブルの原因となります。また補助金など各種制度に重大な影響がありますので、農業委員会を通じ、適正な手続きをお願いします。

利用権設定とは？

地域の担い手や規模拡大希望者への権利を設定し、農地の賃借契約をすることです。利用権設定による賃借を行った場合には、契約期間が満了すると自動的に契約解除となります。

耕作放棄は納税猶予の打ち切り対象です!!

農地の相続税・贈与税の納税猶予について、平成21年の農地法改正により扱いが厳格になっています。農地の納税猶予を受けている方の農地が、耕作放棄地となっている場合、納税猶予が打ち切りとなる場合がありますので、ご注意ください。

※農業委員会への申請書の受付期間は毎月15日から30日(30日が閉庁日の場合は翌開庁日まで)となります。

※農業振興地域の除外申出の受付期間は、原則として4月・10月の1カ月間(土日祝日を除く)です。
なお農振除外の手続きには概ね6カ月以上の期間が必要となります。

詳しいお問い合わせは、農林振興課および農業委員会事務局まで。 ☎72-6935

●美術館●

ふるさと文化の館 ☎72-2120

小野町に恐竜がやってくる！

国立科学博物館コラボミュージアム開幕

「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム in おのまち 恐竜がやってきた！そうだ！アロサウルスに会いに行こう！」が、10月5日に開幕します。

コラボミュージアムは国立科学博物館が被災地支援事業として実施している企画で、福島県内の7会場を巡回しています。

小野町のコラボミュージアムでは、全長7メートルの「アロサウルス」をメインに4体の恐竜の全身骨格標本を展示します。ほかにも、アンモナイトや三葉虫・植物などの化石標本、福島県ゆかりの「フタバスズキリュウ」発見時の状況を再現したレリーフ(複製)や、手で触れる化石などたくさんの資料をご紹介します。

また、期間中には国立科学博物館職員によるギャラリートークやお子さんから大人まで参加できる体験講座を開催します。

この機会にぜひ、「恐竜の世界」をお楽しみください。

■会 期：10月5日(土)～11月4日(日)

(10月5日(土)は午後1時から開館となります)

■開館時間：

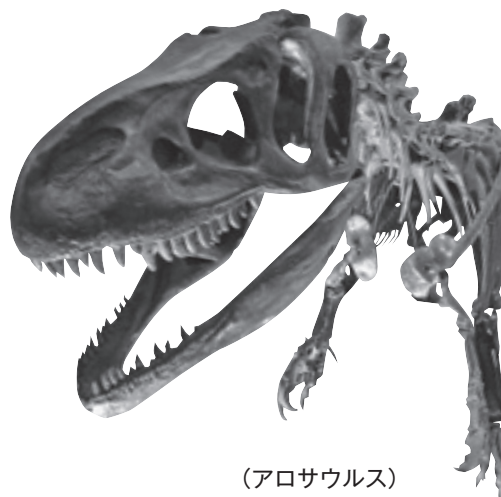
午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

毎週金曜日は午後8時まで開館(入館は午後7時30分まで)

■休 館 日：毎週月曜日

(10月14日(日)は開館し、10月15日(月)が休館になります)

■入 場 料：無料



(アロサウルス)
国立科学博物館蔵

臨時休館のお知らせ

コラボミュージアムの会場準備のため、郷土史料館およびホールが、9月25日(土)から10月4日(金)まで臨時休館となります。また、郷土史料館はコラボミュージアム開催中も休館となります。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

●ペーパークラフトで恐竜をつくろう！

日時：10月13日(日)、27日(日)

午後1時30分から午後4時まで

時間内参加自由

ペーパークラフトで恐竜を作ります。

2日間それぞれ違う恐竜を作ります。

●ナイトミュージアム

日時：毎週金曜日

会期中の金曜日は、開館時間を午後8時まで延長します。夜の美術館をお楽しみください。

●恐竜を描こう！

日時：期間中毎日

自分の好きな恐竜を描いたり、ぬり絵ができるコーナーです。

●ギャラリートーク

「アロサウルスってどんな恐竜？」

日時：10月5日(土) 午後1時30分から

講師：国立科学博物館研究主幹 真鍋真氏

展示資料の解説やアロサウルスなど恐竜についていろいろな話が聞ける講座です。参加を希望される方は当日、時間までに美術館にお越しください。

●アンモナイト・恐竜の爪をつくろう！

日時：10月20日(日)

午後1時30分から午後4時まで

時間内参加自由

(キットがなくなり次第終了します。)

シリコンを型に押し込んでアンモナイトと恐竜の爪が作れる講座です。

小野町美術展

町民の皆さんの作品を展示する「小野町美術展」を、今年も11月・12月に開催します。高校生以上であれば、どなたでも参加できます。皆さんからの出品をお待ちしています。

平成 25 年度小野町美術展出品案内

前 期 部 門		後 期 部 門
会 期	11月16日④から11月24日⑥まで	11月30日④から12月8日⑥まで
出展規定	書 道 (てん刻・刻字を含む) 一人2点まで きり絵 一人2点まで 型画 一人2点まで 宝焼芸 一人小物5点・額2点まで 七宝 一人3点まで 陶ちぎり 一人2点まで 大きさ：6号以上 ☆一人2種まで出品可 例)書道2点ときり絵2点	絵 画 (油彩・水彩・墨絵など) 一人2点まで 大きさ：6号以上 押し花 一人2点まで 大きさ：49額以上 タペストリー 一人2点まで 大きさ：50cm四方以上 彫刻 一人2点まで 写真 一人2点まで 大きさ：四つ切以上 Shadowボックス 一人2点まで 大きさ：28×35額以上 ☆一人2種まで出品可 例)押し花2点とタペストリー2点
	※オリジナル作品にすること(キットで作った作品は不可、模写・習作などはその旨を明記すること) ※壁面展示作品は、額装・ひも付きにすること	
出品票締め切り	11月6日④	11月19日④
作品搬入締め切り	11月10日⑥	11月24日⑥

■出品方法

- 1 出品票を文化の館に提出する。
- 2 作品を締め切り日までに文化の館に搬入する。

■注意事項

- 1 出品票には、①出品部門②氏名③作品名④住所⑤電話番号(書道は作品の原文も)を記入してください。
出品票の様式は任意ですが、文化の館でも準備していますので、お問い合わせください。
なお出品作品にも同じものを添付してください。
- 2 習作・模写などはその旨を作品名の後ろにご記入ください。
- 3 額装とは、アクリルやガラス板などで作品を保護した状態のことです(書道・絵画などを除く)。

出品票記入例(書道)

氏名	〇〇 〇〇
住所	小野町大字〇〇字〇〇
電話	72-〇〇〇〇
原文・釈文・出典などを楷書でお書きください	作品名
〇 〇	李白詩「〇〇〇〇」

出品票記入例

出品部門	絵画
氏 名	〇〇 〇〇
作 品 名	秋の風景(模写)
住 所	小野町大字〇〇字〇〇
電 話	72-〇〇〇〇

●図書館●

夏休みおもしろ科学実験室を行いました

「夏休みおもしろ科学実験室」が8月7日に行われました。小学生20人が参加し「スライムづくり」「シャーベットづくり」を行いました。

ひんやり冷たい工作を子どもたちは楽しんでいました。



スライムづくり



シャーベットづくり

今日のおすすめの本



◎ 一般書

『ひねくれ一茶』

田辺 聖子／著
講談社／刊

一茶は1763年(宝暦13年)現在の長野県信濃町に生まれました。幼名は弥太郎。3歳のときに実母と死別し、8歳で継母がやってきます。弥太郎はこの継母と折り合いが悪く、15歳になると家を飛び出し、江戸へ向かいます。

この物語は一茶が41歳。すでに俳句の大宗匠として名をはせた頃から始まります。

一茶は常に世俗と一体でした。長期にわたる継母・義弟との遺産相続争いがそれを物語っています。そんな「人間・一茶」を大阪出身の女流作家・田辺聖子が余すところなく描いています。新しい一茶の人間像に出会ってください。

(第27回吉川英治文学賞受賞作)



◎ 児童書

『おじいさんの旅』

アレン・セイ／作
ほるぷ出版／刊

ぼくのおじいさんが若かったころ世界をみたいとアメリカへ旅に出ます。彼はたくさんの土地を巡り、やがて結婚しカリフォルニアに住みますが歳をとり故郷が恋しくなり日本へと帰ります。そして年月がすぎ、ぼくが生まれ、大きくなったぼくはカリフォルニアに渡ります。

アメリカ移民の祖父の話を美しい絵で描いた郷愁あふれる絵本です。小学生から大人まで。

盲腸炎と卒業式―昔の痛い話―……………

関根 みい子
(飯豊出身／東京都支部)

昭和36年、中学校の卒業式を一週間後に控えた3月13日の夜、緊急手術という事態が起きた。その日は登校時から腹痛があったが、毎月の事だから…と軽く考え授業を受けた。

しかし、下校時間には症状が悪化、学校下の田尻橋を渡る頃には、歩行も容易ではなく、新田内の家まで6キロもある通学路は遠く感じた。腹を押さえないが、何とか荒屋敷までたどり着き、母の友人でもある会田フミさん宅に飛び込んだ。

母が来たのは午後5時頃、すぐに医者に行くことにし、フミさんの息子で当時小学6年生のマサオ君が、リヤカーで八幡のバス停まで送ってくれた。おかげ様で最終バスに間に合い、一路新町へ。これで痛みも何とかなる…と思い

きや、着いた先は、なんと小学校下のイクちゃん宅だった。

イクちゃんとは、父のいとこで、初代教育長・中野市次先生の奥様(イクヨ)。物知り博士として、特に病気に關しては、医者より明るい人、と誰からも信頼される方だった。度重なる嘔吐と激痛に、イクちゃんは「盲腸クサイ、急性のようだ」と診断した。ここで初めて自分が病氣であることに気がついた。父が来たのは午後9時頃で、すぐに総合病院へ向かったが、でこぼこ道に足をとられる父の背中で必死に痛みに耐えていた。

検査の結果は、イクちゃん先生の診断通りで、医師たちは「一刻も早く!」と慌ただしく私を手術台に乗せた。一夜明けて、医師は「破裂寸前で、こうなるところ

(合掌)だったよ!」と笑っていた。

痛みも一段落し、卒業式へはナジヨするか。抜糸前の外出許可は出なかった。医師からは命の保証はないと言われても「卒業証書はこの手で…」と意志を通し、学校へ行った。式場では、藤田克己校長先生の「購買部の仕事を真面目に取り組み…」の真面目という言葉がとつても嬉しかった。

山田京子先生に抱きかかえられながら、同じ空気の中で皆と一緒に手にした卒業証書。ほんの2、3分の出席だったが、飯豊中学校の卒業生として満足した。



公立小野町地方綜合病院からのお知らせ

「こまちダムまつり2013」に参加しました

当病院では、病院サービス向上の一環として、地域活動委員会を設置し、職員自ら企画し活動しています。このたび地域活動委員会では、7月27日に開催された「こまちダムまつり」に参加しました。

会場では、来場された地域の皆さんの健康管理に役立ててもらうため、血圧測定や健康相談などを行いました。当日は多くの皆さんに足を運んでいただき、普段の病院内の業務とは違った活動を皆さんに知っていただく機会となりました。

今後もこのような活動を通し、地域に

根ざした医療機関として、少しでも地域の皆さんの健康維持に貢献できるよう努力していきます。



健康相談の様子

中学生体験入学実施

7月26日本校において、体験入学が行われました。県中地区の中学生を中心として約120人の参加がありました。

当日の内容は、授業体験や部活動見学および体験などでした。授業体験では、社会・英語・数学・理科・農業・商業・福祉の7つの授業の中から、前後半2つの授業を体験しました。参加された中学生の感想としては「いろいろなことがわかった」「総合学科について詳しく知ることができた」など、好印象であったことがうかがえました。また部活動の見学や体験にも積極的に参加し、充実した一日を過ごすことができたようでした。



上/福祉体験
右/農業体験



社会体験

まだ自分の将来像がはっきりしない人は、いろんな教科から授業を選べ、自分に合った進路選択が可能です。総合学科は、とてもよかったです。静かな環境で、少人数の授業もあり集中して取り組みます。優しい先輩が多くいて、部活も楽しく活動しています。



在校生から/松浦真純さん

球技大会開催

本校で球技大会が、7月17日・18日の2日間行われました。競技は男子サッカーにソフトボール、男女分かれてのバスケットボールとバレーボールの6種目で、学年別、クラス対抗の総力戦に生徒たちは闘志を燃やし、熱闘を繰り広げました。そんな中、各学年で総合優勝を果たしたのは、1年2組、2年2組、3年4組です。

表彰式では、多くの歓声を巻き起こした選手の全力プレーと、それを支えたクラスメイトたちの熱い応援に、惜しみない拍手が送られました。



選手宣誓



ソフトボール



バスケットボール(女子)



バレーボール(男子)

君の夢をカタチに！！

福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63

TEL 72-3171

FAX 72-6211

<http://www.ono-h.fks.ed.jp>

行事カレンダー Calendar



お誕生おめでとう

氏 名	父・母	行政区
壁谷澤龍人 (りゅうと)	寿典・律子	本 町
車田 大和 (やまと)	安史・聖夏	本 町
末永 翔流 (かいり)	誠・朋美	平 館
穴戸 彩花 (あやか)	毅・真奈美	平 館
鈴木 隆介 (りゅうけい)	和也・香代子	皮籠石
草野 悠 (ゆう)	佳祐・聡美	皮籠石

(7月届出分)

おくやみ申し上げます

氏 名	年齢	行政区
佐 藤 勇 治	80	本 町
先 崎 智 子	78	反 町
会 田 清 子	71	中 通
中 茎 ハナ子	93	平 館
藤 井 キミノ	92	浮 金
吉 田 一 重	86	上羽出庭

(7月届出分)

※この欄は、届出の際に同意を得た方を記載しています。

小野小町ふるさと応援寄附金

「小野小町ふるさと応援寄附金」へご協力をいただき、小野町を応援していただいています。

寄附金を納入いただき、広報紙への掲載承諾があった方は次のとおりです。

國分 紀光(東京都府中市)



町の人口・世帯数

(平成25年8月1日現在)

男性	5,115人(2)
女性	5,439人(△13)
合計	10,554人(△11)
世帯数	3,475世帯(△5)

() 内は前月比
福島県現住人口調査結果から

月 日	行 事	時 間	場 所
9/16 (月)	敬老の日 第52回敬老会	10:00 ~	多目的研修集会施設
17 (火)	あそびの広場	9:30-11:30	子育て支援センター
18 (水)	3ヵ月児健診・BCG接種 小学生陸上記録会 窓口業務延長日	受付13:00-13:30 8:30-19:15	母子健康センター 多目的グラウンド 役場
19 (木)	こころの相談室	13:00-15:00	母子健康センター
20 (金)	ヘルスアップ運動教室	13:30-15:30	多目的研修集会施設
21 (土)	秋の全国交通安全運動(～30日まで) あそびの広場	9:30-11:30	島貫整形外科
22 (日)			
23 (月)	秋分の日 9ヵ月児健診	受付14:00-15:00	母子健康センター
24 (火)	あそびの広場	9:30-11:30	子育て支援センター
25 (水)	窓口業務延長日	8:30-19:15	役場
26 (木)			
27 (金)	ふるさと文化の館図書館内整理日(休館)		
28 (土)			
29 (日)			
30 (月)	ブルークローズ		海洋センターブル
10/1 (火)	交通事故ゼロ・歩行者優先の日 あそびの広場	9:30-11:30	子育て支援センター
2 (水)	窓口業務延長日	8:30-19:15	役場
3 (木)	こころの相談室	13:00-15:30	母子健康センター
4 (金)	ヘルスアップ運動教室 健康相談	13:30-15:30 9:00-15:00	多目的研修集会施設 母子健康センター
5 (土)	あそびの広場 国立科学博物館コラボミュージアム (11月4日まで)	9:30-11:30 9:00-17:00	子育て支援センター ふるさと文化の館
6 (日)	こまち湖健康ウォーク・マラソン大会	受付8:30-9:00	こまち湖
7 (月)			
8 (火)	離乳食教室 あそびの広場	受付10:00-10:15 9:30-11:30	母子健康センター 子育て支援センター
9 (水)	窓口業務延長日	8:30-19:15	役場
10 (木)	人権相談	10:00-15:00	母子健康センター
11 (金)			
12 (土)	ちびっこおはなし会 あそびの広場	11:00-11:30 9:30-11:30	ふるさと文化の館 子育て支援センター
13 (日)			
14 (月)	体育の日 献血	12:00-17:00	おのタウンコムコム
15 (火)	シルバー交通安全の日 あそびの広場	9:30-11:30	子育て支援センター

森と湖に親しむ旬間「こまちダムまつり2013」

こまちダムまつり開催

こまちダムで各種イベント実施

「こまちダムまつり2013」が7月27日、こまちダムにおいて開催されました。

町や県、菖蒲谷・雁股田行政区、夏井川漁業協同組合小野滝根支部、小野町建業会などで組織された、こまちダムまつり実行委員会の主催で、森と湖に親しみ、森林やダムの重要性について理解を深めてもらおうと実施したものです。

会場では、普段見ることのできないダム管理棟内やダム本体の中にある監査廊、こまち浄水場施設の見学や土器づくり体験、ダム建設時の発掘調査における遺跡写真の展示、公立小野町地方総合病院看護師による血圧測定や健康相談、また地元行政区や関係者によ

るヤマメの塩焼き、焼きそば、焼きとりの販売などが行われました。

こまち湖では、ダム巡視艇「こまち号」による巡視体験や小野海洋クラブによるカヌー、ヨットの実演体験が行われました。

このほか、アトラクションとして、小町夢太鼓による和太鼓の演奏、町内の舞踊団体の皆さんによる「こまちダム踊り」などが披露され、会場を盛り上げました。

当日は、あいにくの雨模様にもかかわらず、親子連れや夏休み中の子どもたちなど町内外から約250名の方々が訪れ、こまちダムでのイベントを楽しみました。

2



3



- 1/ カヌー体験
- 2/ 巡視艇体験
- 3/ こまちダム踊り
- 4/ 土器づくり体験
- 5/ スタンブラリー
- 6/ 小町夢太鼓の演奏

4



5



6



あとがき

スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、芸術の秋など、○○の秋という言葉は多くあります。

それぞれ由来は別のようにですが、夏の暑さも一段落して空気が澄み、何かをはじめるやる気がわいてくるからかもしれません。

私は芸術の秋といえるほどではないですが、写真の撮影を楽しんでいます。これからの季節に向けてきれいな紅葉を撮りに出掛けたいです。

皆さんも何か「○○の秋」を見つけて楽しんでみてはいかがでしょう。(ひ)